

広島国際大学への入学に向けて

広島国際大学 教育・学生支援機構長
山中 浩泰（薬学部・教授）



合格者へのメッセージも、今回が最終回となりました。いよいよ、本学への第一歩を踏み出しますね。大学入学後の生活は自由な一面もありますが、皆さん自身が責任を負うことも非常に多くなります。4年間、薬学部では6年間の大学学部での生活になりますが、自身の行動に責任を持



広島国際大学・呉キャンパス

って、一步一步成長していってもらえればと思っています。そのプロセスにおいて、教職員は皆さんの良き支援者となるべく、サポートしていきます。

さて、今回のメッセージでは、本学が目指す将来像とそれに関連する学びについて、簡単に触れたいと思います。

「ともに幸せになる学び舎」

本学は都市部に設置されている大学ではありませんが、「健康・医療・福祉」分野において、地域に根差す総合大学として歩みを進めています。社会のニーズに応じて、今後さらなる進展を目指しますが、「ひとをつなぎ 暮らしをつなぎ 未来へつなげる」という概念を念頭に、「ともに幸せになる学び舎」となる大学を目指しています。

「ともに…」という部分は、単に「学生と教職員」という学内限定のくくりではなく、地域、自治体を巻き込む形で本学の教育に関わる全ての方々を含めています。このように、本学は地域に開けた形で、「ともに発展し、ともに成長する、そして人々の幸せの実現に寄与する」



呉キャンパス・ローズガーデン



ことを目指しています。

とは言うものの、上記の将来像は容易に完成するものではありません。我々教職員の適切なサポートは勿論ですが、本学で学ぶ学生さん一人一人がピースとなって、将来像という大きなジグソーパズルを完成させていくことが不可欠です。4年間、あるいは6年間

という皆さんの人生においても貴重な時間をかけて学ぶわけですので、日々の行動を大切にしてい、実りある大学生活を送ってもらえることを願っています。その中で、困ったことが生じた時は、いつでも教職員に相談してもらえればと思います。

「自己理解と他者理解」

大学へは多くの学生が入学しますが、学生の個性は多種多様です。入学される皆さんは、まずは将来に向けた自身の目標を改めてしっかりと描いてください。一方で、正課活動や課外活動の場面では、多くの同級生・先輩と出会うことになります。他者の立場や考え方などは、必ずしも自身のそれと一致するとは限りません。



ここで、大切なのは他者を受容し理解することになります。その行動が良き仲間を形成することになりますし、これまでの自身とは異なる新たな発見や学びにもつながって、自身の成長を促す結果になることも少なくありません。そのような意味で、仲間を大切にしてもらえればと思います。



大学の授業においても、数人がチームを組んで協働して学ぶ授業が多々あります。例えば、皆さんが入学後、一年生必修科目として「チュートリアル」や「専門職連携基礎演習」という科目が設定されています。これらの科目では、数名がチームを組んで課題に取り組むグループワークを実践します。チームが一つの共

同体としてうまく機能するためには、自身のことも他者に解ってもらい必要がありますし、他者のこともしっかりと理解する必要があります。そのようなプロセスを是非とも楽しみながら学び取ってもらえたらと思っています。「生じた問題に対して、他者と協働して解決へと導く」場面は、今後の人生においても何度も遭遇すると思います。そのような時にも、大学の授業で得た経験が役に立つことがあると思います。「ともに学び、ともに成長する」大切さがここにも込められていると思います。積極的に行動することが「協働」につながりますので、もし自身に殻があるのであれば、その殻を破って他者と交わっていただければと思っています。



東広島キャンパス・総合グラウンド

さあ、もう間もなく本学への入学の扉を開くことになります。皆さん個々の夢の実現を目指し、これから有意義な学生生活をともに送っていきましょう！